

国立競技場が元来持つ優位性

- 国内最大級のキャパシティと最高のアクセス性
- トップレベルコンテンツで醸成された「国立」ブランド
- 東京2020大会・スポーツの聖地としてレガシーを確立
- 和の特色と機能性を両立したデザイン性の高い施設
- 環境配慮型の施設・システム設計

当社がもたらす新しい価値

- 世界最先端スタジアムのビジネスモデルの導入
- リーグ連携等によるトップレベルコンテンツの拡充・発展
- 東京2020大会に続く新たなレガシーを創出
- 積極的な更新投資による体験価値の最大化
- グローバル認証に値するサステナビリティ経営

世界トップレベルのナショナルスタジアムへ

CHANGE_1 グローバル型のビジネスモデル導入による経営革新

世界最先端のスタジアム運営ノウハウを導入し、経済的自立とスポーツ界の成長を推進

- 国内外トップレベルのイベントを最高の観戦・鑑賞環境で楽しめるナショナルスタジアム
- スタジアム運営に係る全ステークホルダーへの提供価値向上（Well-being）を目的とした大規模な設備投資
- 提供価値を収益に転換し、スタジアムの経済的自立とスポーツ界への還元を実現

CHANGE_2 国内スポーツ界の発展を牽引する、スポーツの聖地

トップレベルスポーツが更なる成長を遂げ、国民からの注目を集める、アスリートの憧れとなるスポーツの中核拠点

- リーグ等の競技団体と一体となって、国内スポーツをグローバルトップレベルまで引き上げるスタジアム
- 話題性の高いスポーツ大会や参加型イベントを幅広く開催し、国民のスポーツへの興味関心や参画意識を醸成
- 芝生や選手控室などトップレベルのアスリートに最高の競技環境を提供し、スポーツの聖地としてグレードアップ

CHANGE_3 ボードレスなつながりと交流を生み出す、国民に愛されるスタジアム

全国・世界へとつながる国立競技場を起点に、複数のコミュニティが出会い交わり、社会的価値を創出

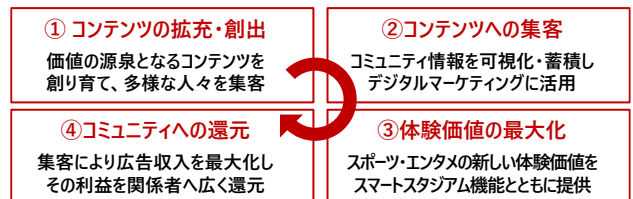
- 次世代通信インフラ「IOWN」を導入し、日本全国・世界各国とつながるスマートスタジアムとしてフラッグシップ化
- 多様なイベント、スタジアムツアー、ミュージアムを通じて交わる人々が、未来の「レガシー」の創出を後押し
- 国際認証に基づくサステナビリティ運営やスポーツを通じた社会貢献により、30年間を通じて社会的価値を創出

【CHANGE_1】グローバル型のビジネスモデル導入による経営革新

継続的な成長と業界発展を実現するエコシステムの導入

- ①コンテンツの拡充・創出：グローバルのトップレベルスタジアム運営事業者と連携し、**トップレベルのスポーツ・文化イベント**を積極的に開催します。また**スポーツ団体と一体**となってファンの拡大や強化投資を行います。
- ②コンテンツへの集客：代表企業であるドコモの**9,700万超**の顧客情報とリーグの顧客情報を突合し、**トータルマーケティング**を通じて、集客力の最大化を推進します。
- ③体験価値の最大化：多様なホスピタリティサービスやICT技術によりスマートスタジアムとして**最先端体験**を提供します。
- ④コミュニティの収益化：集まった人々の価値をスポンサーへの提供価値に転換し、パートナー企業の**ブランディングとマーケティング双方に寄与する付加価値の高い権益設計**を実現します。

コンテンツを起点とした「価値創出」



スタジアムの体験価値を最大化する積極的な設備投資

- リボンビジョンの増設や各種ICT、VIPルーム75室などの大規模更新を行い、アスリート・主催者・観客など全ての関係者に対してグローバル水準のサービスを提供します。
- ドコモの親会社の次世代通信インフラ「IOWN」（アイオン）を積極的に導入し、世界初の新しい体験を創出する、グローバルトップスタジアムとして確立します。

【CHANGE_2】国内スポーツ界の発展を牽引する、スポーツの聖地

スポーツ団体とのパートナー体制によるスポーツ界の発展

- Jリーグをはじめとした、スポーツ団体・競技連盟とのパートナー体制により、**トップレベルスポーツ**の強化・発展を促進します。
- グローバルマッチ等の新しい「**国立ブランド**」コンテンツの企画、国内外プロモーション、ホスピタリティの共同開発等を通じてスポーツ界への収益還元（**選手強化原資の確保**）を行い、国内スポーツのグローバル水準への押し上げに貢献します。
- アマチュアスポーツやマイナースポーツ等には、低廉な利用料金に加え、プロスポーツ同様の**レベニューシェア**スキーム等も積極的に提案し、国内のスポーツ界に新たな変革を起こします。
- 各スポーツ団体とは、スポーツの**普及活動**や**社会貢献**まで含めた幅広い連携体制で、参加型イベントの開催を皮切りに、社会とも密に連携して未来を創っていく構想を描きます。
- 本スタジアムから成功事例を生み出すとともに、**ステークホルダーアライアンス**を通じて成功事例を全国に共有・拡散し、名実ともに**グローバル水準のスポーツ振興拠点**を実現します。
- これらの取組みは、ドコモのサッカー・ラグビー団体との強固な**ネットワーク**や**デジタルマーケティングノウハウ**、前田建設のスポーツ運営に最適な施設運営ノウハウ、Jリーグの**ファンマーケティングのノウハウ**などを組み合わせて実現します。

種目	イベント名 ※凡例：()競技連盟名、【 】リーグ名
陸上	(WA) 世界陸上競技選手権大会 (JAAF) ゴルデングラプリ陸上、日本陸上競技選手権大会 (JUAUJ) 日本学生陸上競技対校選手権大会 (JPA) 日本バウ陸上競技選手権大会
サッカー	(JFA) 日本代表国際親善試合、天皇杯、皇后杯、全国高校サッカー選手権大会、【Jリーグ】Jリーグカップ、Jリーグ・リーグ戦 【WEリーグ】WEリーグカップ (JUFA) 全日本大学サッカー選手権大会 (FIFA) FIFA/U-20/U-17ワールドカップ (AFC) アジアカップ
ラグビー	(JRFU) 日本代表戦/テストマッチ、全国大学ラグビーフットボール選手権大会、全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会 (JERFU) 関東大学ラグビー対抗戦グループA決勝戦、早慶戦・早明戦 (WR) ラグビーワールドカップ 【JRL0】プレーオフ・ナメント決勝、リーグワン・リーグ戦
アメフト	(JAFA) ライスボウル (IFAF) 世界選手権
ラグロス	(JLA) ラグロス全日本選手権大会

最高の競技環境の提供

- 本スタジアムの地中温度制御システムを活用し、張芝による暖地型と寒地型の「**完全入替方式**」に転換することで、最高の芝生コンディションを維持します。
- ラグビーに適したポストの基礎の新設や選手更衣室機能強化などアスリートが**最高の環境でプレー**できる設備を整えます。

【CHANGE_3】ボーダレスなつながりと交流を生み出す、国民に愛されるスタジアム

IOWN活用による空間・ジャンルを超えた体験の創出

- ドコモの親会社の次世代通信インフラ「IOWN」の導入により、日本全国、そして世界各国とつながる**スマートスタジアム**としてのフラッグシップモデルを確立します。
- ドコモ、前田建設、AEG、及びSMFLMPの親会社が運営する愛知国際アリーナをはじめ、全国の他アリーナと繋がり、遠隔で同時接続する**双方向性ライブコンテンツ**を創出します。
- また花火やドローン等の演出と音楽コンテンツが一体となった「**総合エンターテインメントとしてのスポーツコンテンツ**」をJリーグとともに開発し、国民がスポーツに触れる機会を拡大します。

過去・現在・未来のコミュニティの接続

- トップレベルスポーツの他、eスポーツ・音楽・お笑いなどを横断的に楽しめる総合エンターテインメントを本スタジアムにて積極開催し、複数の**ファンコミュニティ**をつなげる機会を提供します。
- **スタジアムツアーの刷新**や5階「**空の杜ミュージアム**」などを通じて観光拠点化し、外国人観光客等がレガシーに触れる機会を創出します。またすべての関係者が「**新しいレガシー**」創造の一員であると位置づけ、コミュニティを超えた一体感を醸成します。



ICT技術による空間を超えたコンテンツの同時体験



ジャンルを越境した総合エンターテインメントコンテンツ

サステナビリティ運営・社会貢献

- 国内スタジアム初のサステナビリティ運営の国際認証である「**LEED O&Mゴールド**」、また「**再エネ100宣言 RE Action**」を取得し、気候変動対策に積極的に取り組みます。
- 開発途上国等の招待試合、**パラスポーツ**等の大会誘致等、スポーツを通じた社会貢献に継続的に取り組みます。